

01.中之島美術館



建物テーマは自由に人が出入り可能なパッサージュ。その名もさることながら、確かに人の往来は見受けられたが、均一化された仕上げ構成や現代的な設えとしてまとめられ、本来イメージするその賑やかさや煌びやかなショーウィンドウ越しの楽しみや期待感などいささか誇張されたテーマ表現の印象でした。

美術館としての機能と周辺環境から来る開かれたオープンな作りは、マッシブな外観とは対照的な印象でした。

内部は美術館の機能を内包しながら中央に5層吹抜けが複雑に絡み合い建物の核になっていた。平面的な繋がりではなく立体的に繋がる吹抜けと内部動線の途中から垣間見える吹抜け空間が豊かな空間演出となっていた。

家具デザインや建物外観など一目見て「中之島美術館」を連想させる一貫した「N」を想起させる「ヴィジュアルアイデンティティ」の概念も随所に見られ一貫していた。

中之島のエリアにあり周辺との動線も考えながら開かれた美術館と一体となり周辺地区の発展に期待したいと思います。

小柳 実